

ありのままを受け入れてくれた OMT

OMTで活躍する久保田洸平さんは、通称『しけるくん』で親しまれています。どうして『しけるくん』になったのか聞いてみると、「大学時代、落語研究会に入っていました。その時の高座名が『火災亭しける』だったので、そこからです。落研に入ったきっかけは喋りが苦手だったので鍛えるために入りました」と話してくれました。しけるくんはOMTに入ったきっかけを聞いてみると、「小美玉市役所で働いているのですが、職場の中で大学時代に落語をやっていたという話が広まり、山口館長から『OMTをやってみないか？市の職員で芸をやっている人に加わってもらいたい』と声をかけてもらい、入団して6年目です。最初短い落語を公演の時にやってみたいや、大喜利をやらせてもらったり、いやあ、緊張しましたね。メンバーみんなの時間を、その間は僕一人でもらってしまうわけですからとても責任を感じました。そういう経験を重ねていくうちに、少しずつメンバーとも打ち解けていきました。そのままの自分を受け入れてくれた場所がOMTで、僕の

持ち味を生かしてくれたのが指導者の『ポケさん』でした。自分が良かれと思っただけでやっていたことをポケさんは受け入れてくれました」と懐かしそうに話してくれました。「僕にしかできないものは、南京玉すだれの動物ネタ。コケッコウにかめ、魚にミッキーマウス。大学時代のたまものです。落語で動物ネタをやっている、その時、古しきたのが生かされています。公演で二番目くらいに南京玉すだれをやるので、ファーストインパクト（一番力を入れる）になる部分です。タップダンスは足首の力を抜いて・リズム感は悪くないので僕の場合は助かっています。苦手なものとはジャグリングですね。苦手なものはできないものがありますが、ポケさんは言ってくれます。『苦手なものには無視して、得意なものには伸ばしなさい』と。OMTに入る前は、お芝居もやったことが無かった。それが今ではOMTの中で一番お芝居を楽しんでいると言われています。経験豊富なメンバーに助けられながら頑張っています。お芝居の中では、他の演者と合わせて喋るのが勉強

になっています。声の出し方を丁寧に指導してくれるのがメンバーのひらさんです。ここ最近、OMTに新しいメンバーが入って来たので2軍に落ちないように、僕にしかできないんだぞ！っていうところを増やして『OMTにしけるあり』といわれるのを目指しています」と思いいます。ありのままの自分を受け止めてくれたOMTのお蔭で自分に自信が持てました。」と久保田さん。「地域アクティビティで、敬老会などにも出演するようになり行政区の区長さん等と親しくなり、役所での仕事で『この前の公演に来てくれたしけるくんだよ』にわたりの声良かったね」と声をかけてもらえ、アクティビティを通して住民との架け橋になれるのかなと感じています」と話してくれました。OMTは小美玉市が産んだエンターテイメント集団。タップダンスや南京玉すだれ、ジャグリングやお芝居まで、色々楽しい事を見せてくれます。日々、進化を続けるメンバーにぜひ、逢いに来てくださいなね。

（藤田 佐知子）

桜の花が咲くと春だなあ〜と感じますね。今年は気温の低い日もあったので美しい桜の花は長い間私たちの目を楽しませてくれました。百花繚乱のこの季節は優しい色の花たちに心まで元気にしてもらえます。新しい生活に疲れを感じたらのんびり散歩をしてみるのもいいですね。今回は OMT-JAPAN のメンバーで石岡市にお住まいの久保田洸平さん取材します。



OMT-JAPAN メンバー

くぼた こうへい
久保田 洸平 さん

「自分がみの〜れの目指すものに少しは近づけたのかな」と笑顔で話してくれた久保田さん。

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ

No.142